株式会社オートバックスセブン
第７６期　定時株主総会

2023年6月23日

本総会の株主様のご出席の状況

議決権を有する 株主様の総数	61,370名様
議決権の数	778,848個

ご出席株主様の人数※	32,557名様
議決権の数※	617,438個

※本日午前９時50分の集計

監査等委員会による
第７６期の監査報告

事業報告
（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

財産および損益の状況

財政状態、経営成績の概況

連結損益計算書（2022年4月1日～2023年3月31日まで）

（単位：百万円）	76期 実績	76期 前期比	75期 実績
売上高	236,235	＋3.3%	228,586
売上総利益	79,462	＋3.0%	77,150
売上総利益率	33.6%		33.8%
販売費及び一般管理費	67,739	＋3.3%	65,598
営業利益	11,722	＋1.5%	11,552
営業利益率	5.0%		5.1%
経常利益	11,574	＋2.9%	11,246
親会社株主に帰属する当期純利益	7,239	＋3.3%	7,010
1株当たり当期純利益	92円87銭		89円17銭
自己資本当期純利益率（ＲＯＥ）	5.8%		5.7%

報告セグメント別業績

	（単位：百万円）	76期	前期比	75期
国内オートバックス事業	総売上高	183,107	＋2.7%	178,274
	営業利益	19,689	▲3.2%	20,343
海外事業	総売上高	13,531	＋22.1%	11,084
	営業利益	▲207	―	▲321
ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業	総売上高	49,196	＋17.2%	48,527
	営業利益	281	―	▲339
その他の事業	総売上高	6,063	＋21.2%	5,003
	営業利益	▲716	―	▲795
調整額	営業利益	▲7,324	―	▲7,333

国内オートバックス事業

国内オートバックスチェン全業態の売上高

前期比　既存店 4.0%増加　（全店 ＋4.2%）

- 車両メンテナンス需要の高まり
- 価格改定前の駆け込み需要
- 寒波や降雪により冬季用品の需要が拡大

国内オートバックス事業

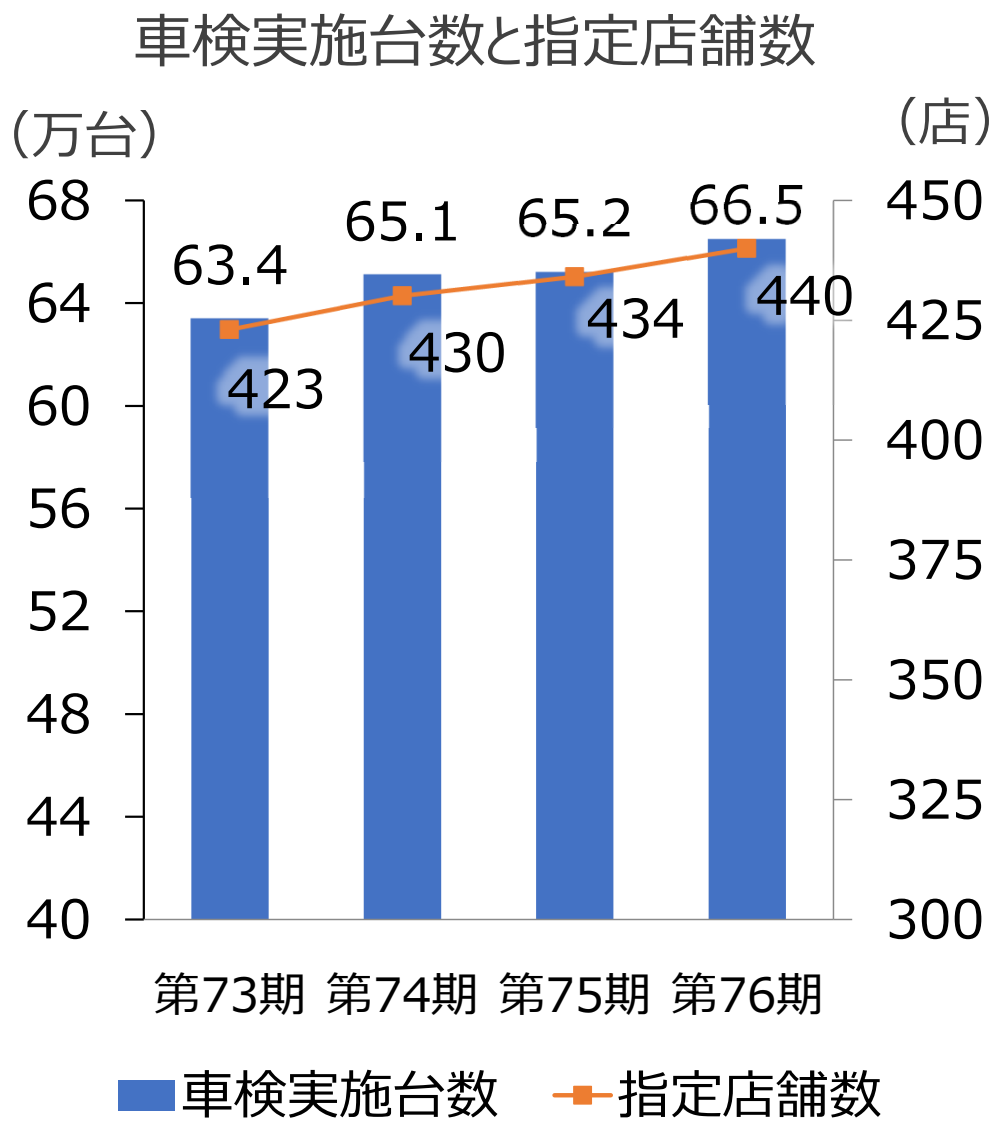
５月と９月の二度にわたり
価格改定も品ぞろえを強化

寒波や降雪による冬季用品を
戦略的に獲得し堅調

世界的な半導体不足による新車減産の影響が長期化し、
カーエレクトロニクスは減少

国内オートバックス事業

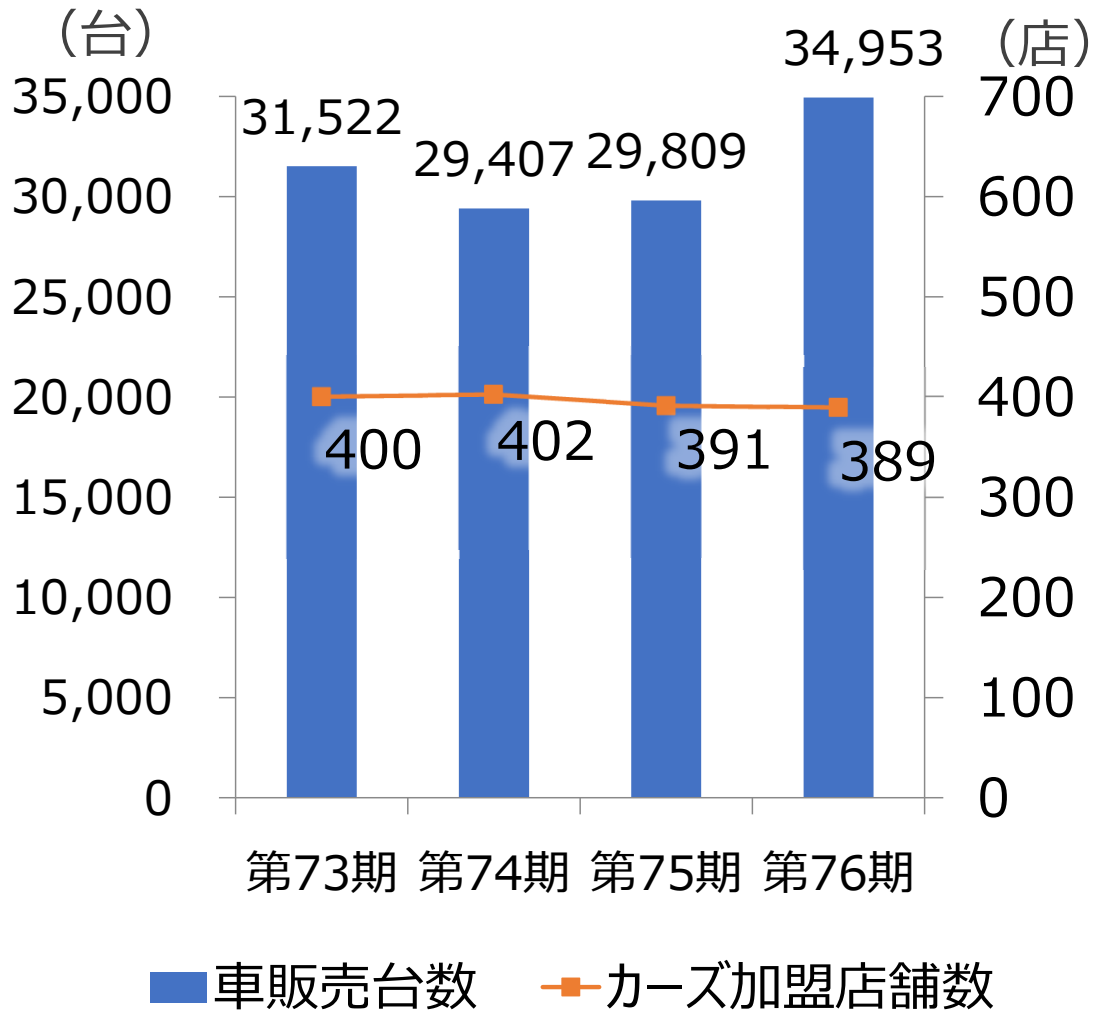
車検・整備



国内オートバックス事業

車買取・販売

車買取・販売 台数とカーズ加盟店舗数



※販売台数は車買取専門店を含む

AUTOBACS C@RS

オートバックス カーリース まる乗り

海外事業

フランス

- 価格適正化や営業活動の最適化などの対策で売上が増加

マレーシア

- 125店舗に拡大したオーソライズドディーラーとしての認定店への卸売が大幅に増加

海外事業

中国

- １２月以降の規制緩和により
  中国国内外への卸売が好調に推移

オーストラリア

- カーエレクトロニクス商品や
  無線機が好調
- 新たな卸売先の開拓や専売品の
  導入などで売上が増加

ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業

ディーラー事業

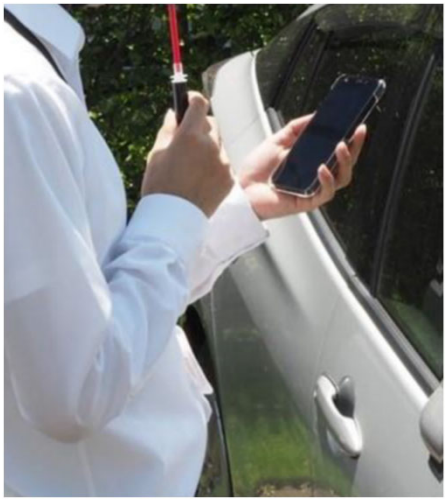
- 電気自動車メーカーBYDの日本法人BYD Auto Japan株式会社とのディーラー契約を締結（2022年12月）

BtoB事業

- 「オートバックス法人会員制度」の加入件数が順調に増加
- 子会社においても、車両のメンテナンス需要と12月の寒波や降雪により、売上堅調

オンラインアライアンス事業

- 自社EC物流センター新設
- 「オートバックス楽天市場店」をオープン（2022年11月）
- ドライバーの酒気帯び状態をチェックし、その情報をクラウド上で管理する「ALCクラウド」が順調に拡大



連結貸借対照表（2023年3月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部	負債の部
194,327 (+4,416)	67,364 (+345)
	純資産の部
	126,963 (+4,071)

（注）カッコ内数字は前会計年度からの増減額

その他　招集通知記載　項目

内　容	該当ページ
財産および損益の状況	２１ページ
設備投資の状況	３４ページ
資金調達の状況	
当社グループの主要な事業内容	
当社の主要な事業所	
重要な子会社の状況	３５ページ
重要な関連会社の状況	
従業員の状況	
主要な借入先および借入額	
その他当社グループの現況に関する重要な事項	

内　容	該当ページ
株式の状況	３６～３７ページ
会社役員の状況	３８～４２ページ
会計監査人の状況	４３ページ
当社のコーポレート・ガバナンス	４３～４８ページ
会社の体制および方針	４８ページ
連結キャッシュ・フロー計算書	５１ページ
個別貸借対照表 個別損益計算書	５２～５４ページ

インターネットにて開示の項目

内　容	
事業報告	
	内部統制システムに関する基本方針およびその整備・運用状況の概要
	会社支配に関する方針
連結計算書類	
	連結株主資本等変動計算書
	連結注記表
計算書類	
	株主資本等変動計算書
	個別注記表

経営方針、経営環境
および
対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境

- 社会経済活動の正常化を背景に緩やかな回復傾向
- 国際情勢に起因する原材料やエネルギーコストの高騰
- 急速な円安の進行や物価上昇

当社グループを取り巻く事業環境

- 技術革新の進化
  （電動化、自動運転化など）
- ZEV（ゼロエミッション車）への対応加速
- 業種・業態を越えた競争激化
- 少子高齢化による顧客構成の変化や
  ニーズの多様化

対処すべき課題

- 各事業を ROIC（投下資本利益率）で管理・見える化
- 事業ポートフォリオの見直しと入れ替えによる経営資源の最適化
- 戦略事業への取り組み強化

事業・事業基盤の取り組み施策

事業	取り組み施策
国内オートバックス事業	・物流の効率化と値入改善 ・店舗収益の拡大や新規出店や設備投資の促進 ・店舗オペレーションのさらなる改善 ・整備士の採用・育成・定着化 ・ネットとリアルの融合やDX戦略の推進

「出かける楽しさ」を
提案し続ける会社へ

もっと移動を安全に、安心に、
もっと楽しく、もっと自分らしく
社会と調和したモビリティライフを提案したい。

事業・事業基盤の取り組み施策

事業	取り組み施策	
海外事業	• 卸売事業を中心にスピード感を持った事業展開で収益拡大	
ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業	ディーラー事業	• オペレーションの改善、人材育成を通じて収益拡大 • EVを含むZEV（ゼロエミッション車）の販売推進
	BtoB事業	• 新規取引先の開拓 • 法人所有車両のメンテナンスや車検需要の取り込み
	オンライン アライアンス事業	• EC事業のさらなる強化、オンラインとオフラインの融合加速
その他の事業	ブランド事業	• 「GORDON MILLER」を中心に、新たなマーケットの創造
	拡張事業	• 新たなモビリティにかかるサービスの立ち上げ • サステナビリティ・トランスフォーメーションの実現

事業・事業基盤の取り組み施策

事業	取り組み施策
カートレーディング事業	• 車買取・販売の台数を全国で拡大
プロパティデベロップメント事業	• 当社グループ内の不動産の有効活用

事業基盤	取り組み施策
人材基盤	• 人的資本への戦略的な投資 • 整備士の 採用 ・ 育成 ・ 定着により既存のビジネス領域の維持・拡大 • 新たな価値を創造できる人材の集団を育てる
情報基盤	• IT戦略、DX（デジタルトランスフォーメーション）戦略の両輪によるビジネスモデルの変革

株主還元

- ５年間の累計総還元性向100%を目安とする
- 安定的かつ機動的な株主還元を図る

2024年3月期の見通し

連結業績計画

売上高	2,430億円
営業利益	123億円
経常利益	120億円
親会社株主に帰属する当期純利益	74億円

パーパス

社会の交通の安全と
お客様の豊かな人生の実現

クルマのことなら
オートバックス